

プログラム

2月20日（木）

9:00-9:10			趣旨説明
9:10-9:35	1	伊川 浩樹	アラスカトウヒ林における融雪期の年次変動
9:35-10:00	2	露崎 史朗	アラスカ内陸部における森林火災後の植生回復
10:00-10:25	3	田端 爽一	7種類の有機物を添加した北極域土壌からの二酸化炭素放出量の比較
			休憩
10:35-11:00	4	谷口 南帆	北極域土壌における生分解性プラスチック分解率調査
11:00-11:25	5	梅澤 和寛	アラスカ州デナリハイウェイ沿いに位置するバルサの菌叢解析
11:25-11:50	6	飯島 慈裕	CバンドSARによる永久凍土帯の水域結氷状態の推定
			休憩
13:00-13:25	7	阿部 隆博	アラスカ内陸部における凍土の凍結・融解に伴う地表面変位とその解釈
13:25-13:50	8	Zetao Cao	Evolution and Variability of Post-Wildfire Permafrost Deformation in Northern Yukon Under Climate Change Investigated by InSAR
13:50-14:15	9	Tian Chang	InSAR-based surface deformation reveals accelerated permafrost degradation in the Qilian Mountains, Qinghai-Tibet Plateau
			休憩
14:25-14:50	10	ガリボン ジョゼフィーヌ	Microbial response to temperature changes of Alaskan permafrost from the Pleistocene and Holocene
14:50-15:15	11	朴 昊澤	北極水循環の変化
15:15-15:40	12	石川 守	機械学習に基づくモンゴル中央部ハンガイ山地における湧水状態の空間分析
15:40-16:10			総合討論：北極圏および北東アジアの永久凍土
			休憩
16:20-16:45	13	松岡 憲知	南アルプスでの淘汰構造土形成に関わる差別凍上：10年間の観測結果
16:45-17:10	14	奈良間 千之	白馬連山の周氷河地形の調査
17:10-17:35	15	杉山 博崇	飛驒山脈北部、白馬連山における気温と地温の年々変動
17:35-18:00			議論：今後の国内の凍土コミュニティのあり方について
終了後			懇親会

2月21日（金）

9:00-9:25	16	岩花 剛	大雪山の気象変化と凍土変化について
9:25-9:50	17	澤田 結基	風穴を伴う岩塊斜面の永久凍土分布を規定する要因
9:50-10:15	18	池田 敦・真庭 志歩	生態系分布モデルを地学的に利用してみたら
			休憩
10:25-10:50	19	福井 幸太郎・小川弘司・藤原洋一	白山と立山の凍土観測
10:50-11:15	20	渡辺 達也	大雪山・知床連山での凍土・周氷河調査
11:15-11:40	21	斉藤 和之	プロジェクト紹介「氷室・風穴（自然冷熱エネルギー）の機能を地域環境保全へ還元する再エネ利用研究」
11:40-12:10			総合討論：国内の永久凍土と周氷河地形